

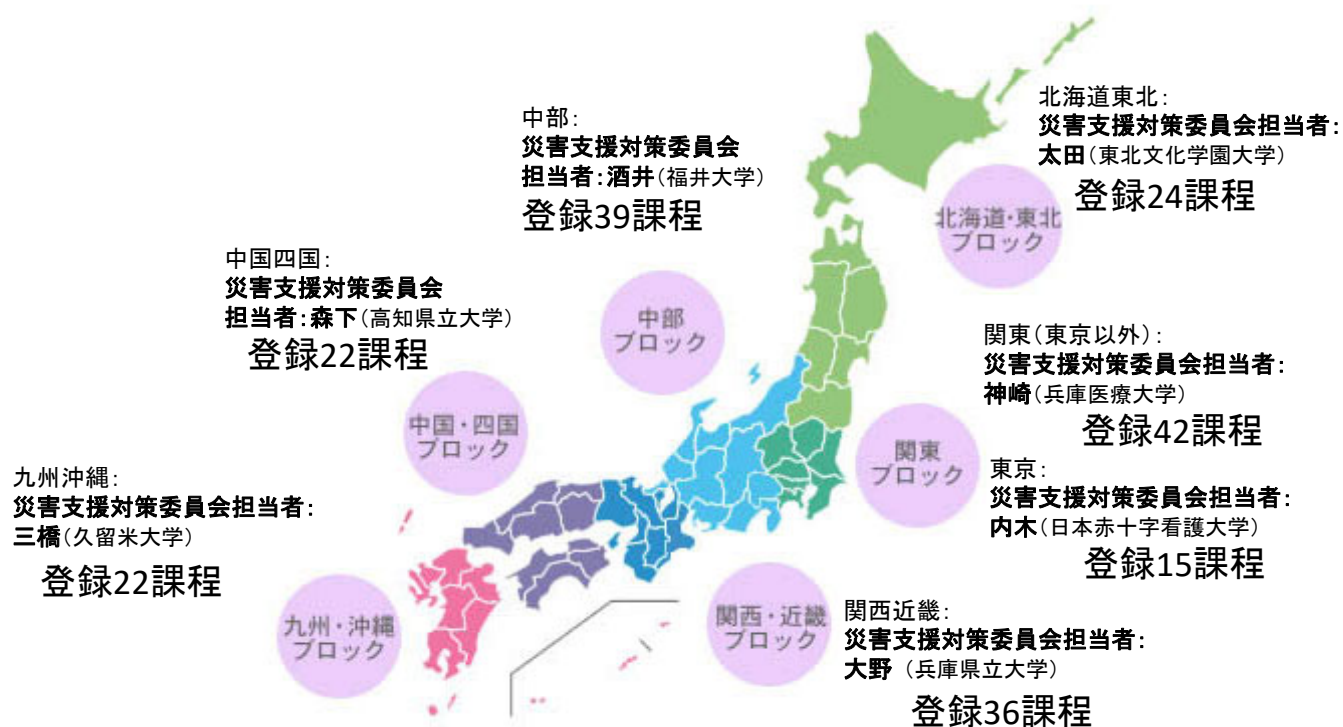
災害発生時の教育継続支援に向けた情報共有と 対応に関する支援組織体制づくり

日本看護系大学協議会
災害支援対策委員会
2021年4月9日

1

広域ブロックの考え方

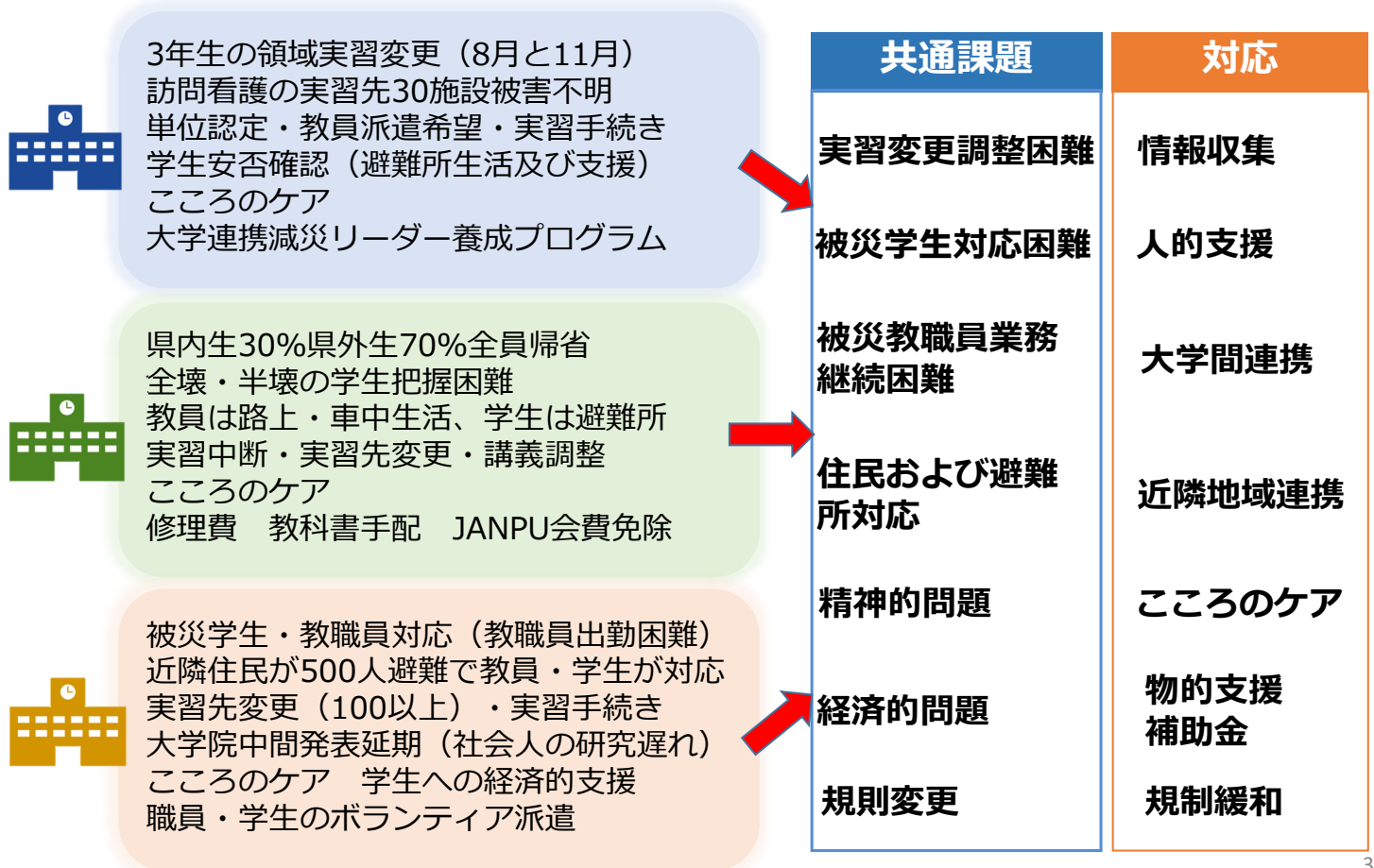
参加 200課程



- ・ 現在JANPUが適用している北海道東北・関東（東京以外）・東京・中部・関西近畿・中国四国・九州沖縄に分ける予定
- ・ 災害担当教員は災害看護の授業科目を担当している方とし、担当者がおられない場合は、災害連携が可能な教員

2

教育継続支援に向けた災害発生時の情報共有と対応 < 被災大学視察から見た課題（熊本地震） >



被災後の教育継続や助け合い体制に向けての必要な行動

災害時には、被災大学は教育の継続が困難

- ・大学の建物の倒壊や教員・学生への被害の程度によっては講義や実習が継続困難
- ・卒業や就職に関する長期的な影響

必要となる具体的行動

新設大学からは災害の備えがわからないというアンケート結果

【平時】

- ・災害看護を専門とする教員の連絡網構築による被災後の教育継続や助け合い体制づくり

各大学で災害看護の講義を担当している教員をキーパーソンとして**小ブロック（都道府県単位）**と**広域ブロック**を織り交ぜた**ネットワーク**を構築

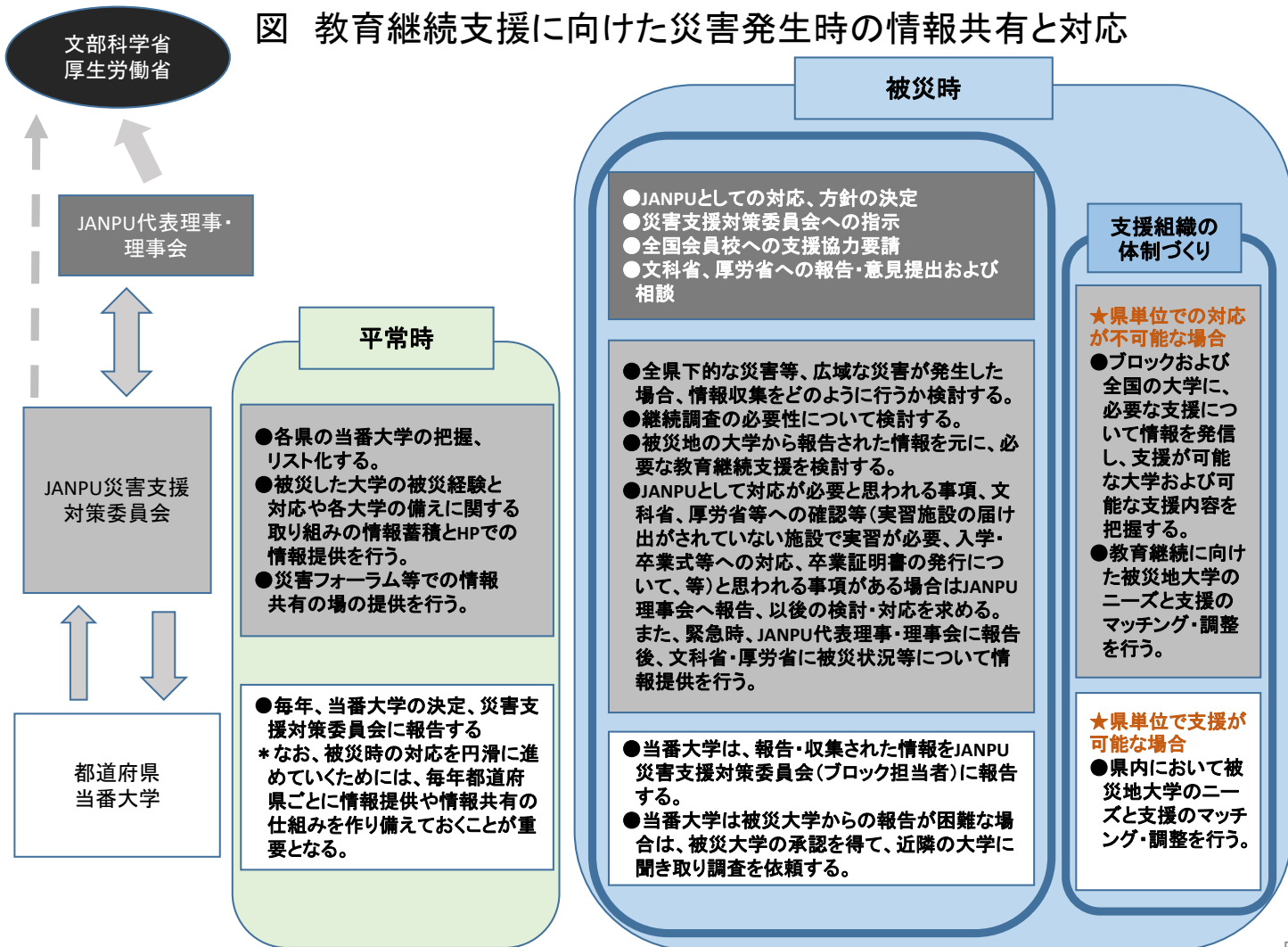


日ごろから災害時に必要な活動・行動を共有化し相談が出来る体制を構築

【災害発生したら】

- ・教育継続支援に向け大学間での情報共有と対応

図 教育継続支援に向けた災害発生時の情報共有と対応



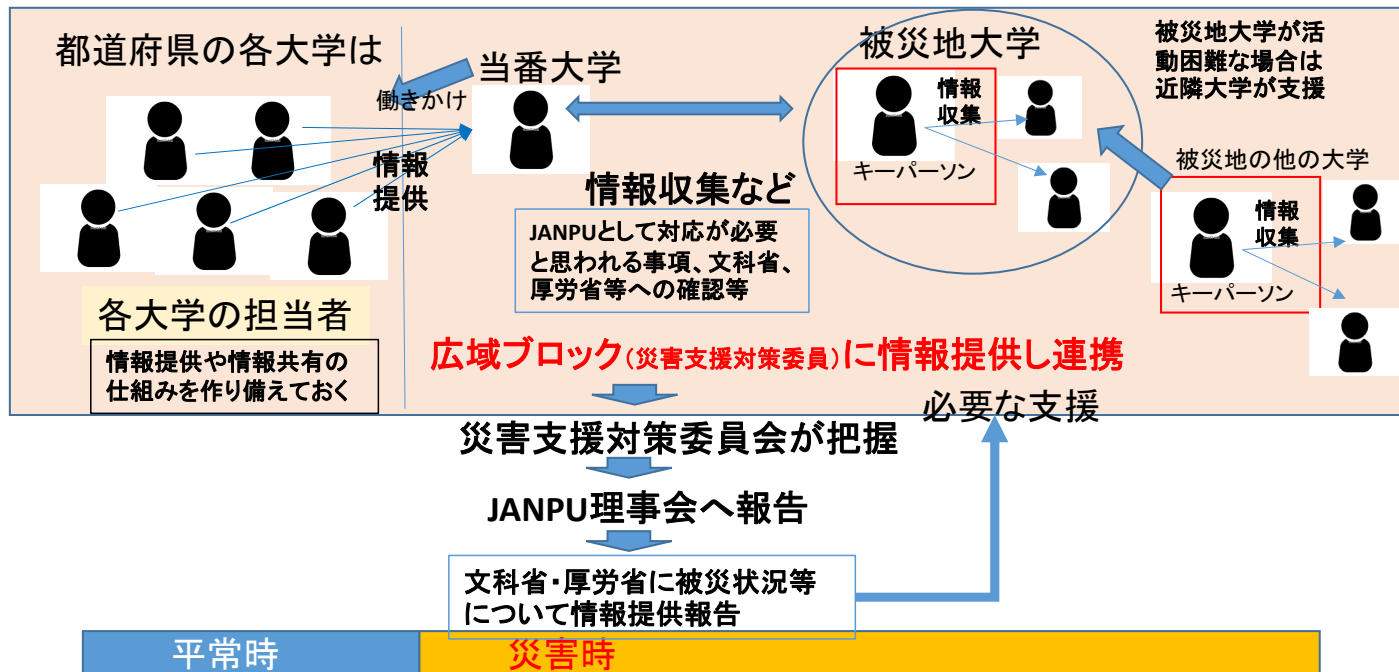
小ブロック(都道府県単位)の目的と考え方

目的: 災害時の大学間の自助共助、情報集約と共有、平時からの交流

各大学で災害看護の講義を担当している教員をキーパーソンとした都道府県単位の連携

各県の当番大学(毎年交替)を把握しリスト化

← 災害支援対策委員会が把握



第1回各ブロック会議

ブロック名	JANPU 会員校数	ネットワー ク登録会員 校数	第1回 ブロック 会議参加 校数	第1回 ブロック会議 参加 %
北海道東北	33	24	18	75%
関東(東京除く)	59	42	35	83%
東京	26	15	10	67%
中部	53	39	32	82%
関西近畿	53	36	29	81%
中国四国	32	22	19	86%
九州沖縄	31	22	15	68%
合計	287	200	158	79%